

# 2021年10月22日 第3366回例会

於： よこすか平安閣



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

<点鐘・開会> 12:30 八巻 会長

<斉唱> 「我等の生業」

<ゲスト紹介> \*京浜急行電鉄株式会社 代表取締役社長 原田 一之様  
\* " 総務部総務課(秘書担当) 佐野 裕章様  
\*横須賀経済新聞 代表 亀崎 昌義様  
\*平八ラーメン 代表 三堀 隆様

<会長報告> \*第4回理事役員会 報告

\*ガバナー事務所より

・「世界ポリオ根絶サミット in D2780」のご案内について

10月24日(日) 12:30~16:15

You Tube 視聴 URL

[https://www.youtube.com/watch?v=OZlqc\\_oEXWO](https://www.youtube.com/watch?v=OZlqc_oEXWO)

・インターアクト委員会/IACアクターズミーティング開催のご案内について

11月13日(土) 13:00~14:00 委員会

14:00~ アクターズミーティング

於：アイクロス湘南6F「会議室」及びZoom会議室

\*ガバナー会より

・RI President Conference in Gyeongju, Korea:

第1回会長主催会議のYou Tube 視聴のご案内について

You Tube <https://youtu.be/BCI3UJAmBpe>

<幹事報告> \*2021-22年度収支予算書

<出席報告> \*出席委員会 加藤 備 委員長より10月22日の出席報告

会員数	出席対象者数	出席数(ZOOM出席数)	欠席数	メイクアップ数	出席率
118名	112名	91名(8名)	21名	1名	82.14%

<ニコニコ報告>

・三 役 京浜急行電鉄株式会社代表取締役 原田一之様、総務部総務課 佐野裕章様ようこそお越しくございました。本日の卓話よろしくお願いたします。

・大野 備、大石、西村 俊、馬場、鈴木 豊、後藤、田中 伸、勝見、関口、北村、畑、木村、小保内、新倉 健、江口、若麻績、根岸、岩崎、新倉 健、小平、鈴木 健、猿丸、梁井、渡辺 伸、岡田 健、小林 健、岡、長坂、松本 伸、福西、田邊、中村 備、小山 健、波島、三堀、杵 渕、佐久間、平松、加藤 備、上林、小沢、小佐野、谷、鈴木 健、山下、勝間、小林 (-)、前川、兼城、齋藤 健、小山 健 各会員

京浜急行電鉄株式会社代表取締役 原田一之様、総務部総務課 佐野裕章様、横須賀ロータリークラブにお越しく下さりありがとうございます。本日の話を楽しみにしています。

・関口 会員 三堀 隆様、ゲスト参加ありがとうございます。

・岡、関口、岩崎 各会員 誕生月祝いとして

・波島、岡、野坂、鈴木 豊 各会員 入会月祝いとして

・角井、勝見、鈴木 健 各会員 10月17日に齋藤眞且幹事のご自宅において、ロータリー恒例のピザ例会を開催いたしました。おいしい料理と場所をご提供いただきましてありがとうございます。また、貴重な日本酒をいただいた高橋隆一会員ありがとうございます。

・北村、八巻、岡田 健、中村 備、徳永、江沢、波島、長谷川、前川、小山 健 各会員

10月24日(日)は世界ポリオデーです!第2780地区でも当日のお昼から「世界ポリオ根絶サミット in D2780」がYou Tube 配信されます。

- ・野 坂 会員 おひさしぶりです。
- ・田 村、久保田、齋藤 嶋、長 尾 各会員 コロナ感染が落ち着いてきました。横須賀市も連日感染者0人と報告されています。各テーブルミーティング開催が動き出しています。
- ・久保田、角 井、波 島、渡 邊、嶋 各会員 横浜高校出身、松坂大輔投手が引退。平成の怪物が幕を閉じました。

## <卓 話> 「コロナ禍からの脱却に向けた三浦半島観光のエリアマネジメント戦略」

京浜急行電鉄株式会社  
代表取締役社長 原 田 一 之 様

### [冒頭]

京急電鉄の原田でございます。本日は貴重な機会をいただき、誠にありがとうございます。ワクチンの接種も進んで感染者数も大幅に減少して、明るい兆しも見え始めております。

鉄道会社は、鉄道バスなどの交通事業や、百貨店ショッピングセンターなどの流通事業、ホテル事業など、コロナ禍において甚大な影響を受け、今でもその影響は回復していません。そのような中で京急グループでは、本年、新たな経営計画を策定し開示しましたので、三浦エリアでの取り組みなども含めてご紹介させていただきたいと思っております。

### [自己紹介]

1954年に横須賀で生まれ、地元の県立高校を卒業するまで横須賀で育ちました。ロータリーの八巻会長とは高校の同級生でした。大学は、仙台で4年間過ごし、卒業後に京急電鉄に入社しました。

### [会社紹介]

京急の120年の歴史を簡単に説明します。1898(明治31)年 会社創立。その後 京浜電気鉄道と湘南電気鉄道が合併し現在の京急電鉄の路線網と会社の原型ができあがりました。戦時中に、現在の東急・小田急・京王と合併し東京急行電鉄(東急電鉄)となり、戦後になって現在の京浜急行電鉄が設立されました。都営線との相互乗り入れや羽田空港駅の開業など、様々な経緯を経て現在の路線網ができました。

### [横浜みなとみらいへの本社移転]

泉岳寺旧本社が品川再開発の区画整理事業エリアにあったことなどにより、本社を横浜みなとみらいに移転しました。横浜駅は当社最大の乗降人員を誇る駅であることと同時に、横浜は当社グループのさまざまな事業展開の中心に位置しており、グループ本社の司令塔として各事業との連携による効果を期待しました。

### [京急グループの事業エリア]

京急線は、東京・神奈川の東側を南北に長く、京浜工業地帯の輸送を支える鉄道会社です。北の始発駅の品川駅は山手線のターミナル駅として、羽田空港駅は国内外からの玄関としての機能を発揮しており、この



エリアが産業・商業・住宅の集積地である一方、三浦半島一帯のエリアは自然豊かな居住地であり観光地としても注目されています。首都圏で、都心部から電車で1時間程度のエリアに、ビジネス・国際空港・産業・住宅・観光など多様な特色を持つ街が揃っている鉄道沿線はないと自負しています。

#### [コロナ禍における厳しい事業環境]

しかしコロナ感染以降、事業環境は一変しました。緊急事態宣言やまん防の影響を受け、生活様式の変化により京急グループのあらゆる事業に甚大な影響を受けました。京急グループのほとんどが「リアル」に価値を置く事業でしたので、これまで積み上げてきたものがすべて否定される様な状態となりました。2020年度においては、鉄道輸送人員は約3割の減少、インバウンドや国内旅行や出張などの減少に伴い、羽田は約6割の減少、バスも約4割減と影響は大きくビジネスホテルの稼働率は、約62ポイントも下がり、稼働率は、2割台まで下がりました。

#### [2020年度決算]

2020年度の最終損益は272億円と大幅な赤字、営業損益も△184億円という戦後初の赤字となりました。2021年度もコロナの第4波・5波の影響により、苦しい状況が続いていますが、まずは営業利益を黒字にすることが私の責務であり、そのための様々な施策に取り組んでいます。10月に入ってワクチン接種の拡大や治療薬の開発見込など明るい兆しもありますが、コロナ後も元通りになると楽観せず気を引き締めてまいります。

#### [コロナ禍に打ち勝つための経営計画の策定・実行] (長期ビジョン・長期経営戦略)

このような急激な事業環境の変化への対応を進めるとともに、品川駅周辺開発の推進によって持続的な発展を実現するために今年の4月から新たな総合経営計画をスタートしました。この長期ビジョンを実現するための経営戦略は、「エリア戦略」「事業戦略」、「コーポレートサステナブル戦略」で構成します。

#### [エリア戦略]

当社では、品川・羽田・横浜を結ぶエリアを経営計画の最重要拠点と位置付け、このエリアを「成長トライアングルゾーン」とします。この成長トライアングルゾーンと横浜以南の横須賀三浦の沿線地域や都心部の浅草線沿線等の各エリアとの相互連携を図りながら、移動サービスの提供やまちづくりを推進し、持続的に発展する豊かな沿線の実現を目指します。

#### [急激な事業環境の変化への対応策]

コロナの影響で大きく減益となっている鉄道・バス・ホテルにおけるローコストオペレーションの徹底で、それぞれの事業の黒字化を目指します。鉄道では、固定費の大部分を占める人件費について規模の小さい改札口で係員がいなくても遠隔で対応できる駅、リモートシステムの導入や勤務シフト見直し等でコスト削減に努めます。間接部門のダウンサイジング化、システム化による業務効率化や抜本的な改革によりグループ全体の適正配置を進めます。不動産事業を利益の柱にする事業のポートフォリオ変革も急務です。

#### [取り組むべき事業への経営資源集中による収益構造の変革]

収益構造の変革に向け、京急グループの各事業を「移動プラットフォーム」と「まち創造プラットフォーム」に分類し、この2つのプラットフォームにかかわる事業に集中していきます。

「移動プラットフォーム」は、鉄道・バス・タクシーといった当社の持っている移動手段と、シェアサイクルやキックボード等様々な移動手段との連携を図り、地域の課題解決を図っていくものです。これらの移動手段を、ITを用いてシームレスに結びつけ、効率よく便利に使えるようにするシステムを構築し、各移動手段と各種サービスの一体的な連携によって付加価値の提供や移動需要のマネジメントに取り組めます。

「まち創造プラットフォーム」は、駅周辺の再開発事業や住宅開発に取り組み、地域や地元行政などの関係者ととも地域課題解決・地域の魅力づくりや新たな拠点づくりに取り組むものですが、当社の事業として、住宅・流通・レジャー事業など多様な生活サービスを提供します。

#### [三浦半島観光のエリアマネジメント戦略]

三浦半島エリアについては、「都市近郊リゾートみうらの創生」を掲げています。コロナ禍による生活様式等の変化やニューノーマルに伴う需要の変化などにより、都心に集まる企業にとって三浦半島は、非常に価値が高くなると考えています。地元行政・企業・大学・地元をつなげるコミュニケーションハブを担うこととし、エリアマネジメントを進めていくことを宣言しました。

具体的な取り組みとしては次のとおりです。①当社が中心となって組成したエリアマネジメント組織「三浦 Cocoon」の活動。②地域課題の解決を目指す MaaS プラットフォームを構築し、地域連携観光コンテンツ、官民連携事業への参画や他ブランドとの協業といった「回遊性向上・活性化」などの取り組み。③多様な住宅整備・空き家活用・コワーキングスペースの設置等といった多様な住まいの提供。④滞在環境の整備」を通じて、エリア価値の向上と三浦半島への人の流れを作る事などです。

#### [三浦半島観光のエリアマネジメント戦略]

エリアごとに大手ディベロッパーや地元と連携し、施設整備等を行っていきます。①横須賀エリアでは、ソレイユの丘、観音崎公園の指定管理に参画し、日比谷花壇さんや県公園協会と組んで運営に関与していきます。②城ヶ島では高級温泉旅館、具体的にはヒューリックさんのラグジュアリーホテル「ふふ」シリーズの開業にむけた基本協定を締結しました。③油壺はマリnparkの跡地に観光ハブ拠点を整備、三浦海岸は人口減少といった課題を解決する多世代共生のまちづくりを進めていきます。水族館「油壺マリnpark」は、本年9月末をもって施設の老朽化のため閉館しましたが、今後は都市近郊リゾートとしての三浦の発展を目指したいと思っておりますのでご期待下さい。

#### [エリアマネジメント組織「三浦 Cocoon」について]

エリアマネジメント組織「三浦 Cocoon」は、2016年に当社の若手・中堅社員を中心としたメンバーと東大の研究室と一緒に三浦半島勉強会を始めました。当初は、コンセプトブックの作成や地域活性化イベント等を行ってききましたが、一過性ではない具体的な地域活性化への取り組みが課題となっていました。そこで2020年からは、観光型 MaaS を検討する組織として「三浦 Cocoon」を立ち上げ、新たに「三浦 Cocoon ファミリー」として地元企業等60団体からなる組織としてスタートします。現在は、活動に賛同いただける団体が徐々に増えて100団体を超える規模となっており、三浦半島エリアの様々な団体をつなぎ合わせるエリアマネジメント組織となっています。今日お集りのロータリーのメンバーにも、当初から中核メンバーとしてご参加いただいております。トライアングルさんやヤチヨさんそして金融サポート企業として横浜銀行さんや、かな信さん湘南信金さんにもご参加いただいております、今後さらに広がっていくことが期待されます。

#### [観光型 MaaS 「三浦 Cocoon」について]

10月8日に当社から2つのニュースをリリースしています。①エリアマネジメントを支える観光型 MaaS 『三浦 Cocoon』機能拡大、②デジタルよこすか満喫きっぷ期間限定発売

MaaS (マース: Mobility as a Service) とは、地域の住民や旅行者が一人ひとりの行動に合わせて、複数の公共交通やそれ以外の移動サービスを最適に組み合わせることで情報を検索し予約・決済等を一括で行うサービスのことで、観光や医療等の目的地における交通以外のサービス等との連携により、移動の利便性向上や地域の課題解決にも資する重要な手段となります。当社は、観光型 MaaS として三浦半島の観光事業者が共通で使えるプラットフォーム基盤を整備します。これにより観光体験の予約や発券、デジタル乗車券(まずはよこすか満喫きっぷ)の購入、コクーンファミリーの情報発信ができ、それらと交通ネットワークを繋げた経路検索が可能となります。あわせて、地域事業者の観光拠点(宿泊・ワーケーション・地産品販売等)やモビリティ(相乗タクシー・シェアサイクル・キックボードなど)基盤の整備を行うことで三浦半島エリアを一元的に捉え、観光できるようになります。

#### [観光型 MaaS「三浦 Cocoon」 サービスイメージ図]

本日10月22日より「予約」、「決済」、「デジタルチケット」、「マルチモーダル経路検索」の4大機能拡大と一元化を図り、WEBサイトも全面リニューアルしました。これにより、お客様も一つのサイトで効率の良い手続きや情報把握ができるようになります。

#### [観光型 MaaS「三浦 Cocoon」と「観光ナビ」との連携]

観光型 MaaS のプラットフォームの構築にあたっては、「三浦 Cocoon」は国交省の日本版 MaaS 推進支援事業に採択されました。(株)アイシンなどと協議会を結成し、渋滞の回避、情報発信不足の解消、2次交通（観光地までの交通）の整備を行うべく、「観光ナビ」との連携による魅力的な迂回ルートの提案を行えます。年内にはサービスを開始できる見込みです。MaaS は全国的に様々なところで検討が進められていますが、三浦半島における MaaS が注目されている理由は、様々な地元の企業などと連携することで、コクーンの中での化学反応が起き、エリア全体を巻き込んだ地域発信のエリアプラットフォームの構築を図るという点です。

#### [横須賀での取り組みについて]

観光型 MaaS のプラットフォームの構築にあたっては、観光庁が行っている『既存観光拠点の再生・高付加価値化推進事業』に対応する形で、横須賀市が「観光拠点再生計画」を作成し、官公庁の助成金を使って MaaS の基盤整備を行っています。よこすかルートミュージアム観光誘致施策の実施、(株)トライアングルさんによる浦賀港周辺のイベントや海上輸送の実証実験、いちご(株)さんによるよこすかポートマーケットの観光拠点化、横須賀集客促進委員会による浦賀ドックでのイベント開催などの活動をしています。また、10月23日より、「デジタルよこすか満喫きっぷ」の販売も開始します。よこすか満喫きっぷは、電車・バスの乗車券に、ご当地グルメが楽しめる「食べる券」やアクティビティでご利用になれる「あそぶ券」がセットになった日帰りの手軽に満喫できるお得な企画きっぷです。今回、観光型 MaaS「三浦 Cocoon」の取り組みの一つとして、デジタル版を発売し事前購入に加え、観光情報やマルチモーダル経路検索の機能も活用でき、スマートフォンひとつで快適に横須賀市内観光を楽しむことができるようになります。

三浦コクーンは、社内の中堅・若手や地元で元気がある若手経営者などが、こぢんまりと始めたものが、今や100団体を超える規模の組織となりました。それぞれやる気のある人たちが盛り上げていくことが持続・発展のカギだと考えています。MaaS を活用した新たなエリアマネジメントに、皆様のご協力もいただきながら今後も三浦半島を盛り上げていきたいと思っております。

本日は、ありがとうございました。

<閉会・点鐘> 13:30 八巻会長

週報担当 笠木英文